

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

学年・単元名

第1学年 「文の組み立てを考えて、整った文を書こう」(光村図書)

単元構想

指導例「主語・述語」を取り入れて



1

p222、p 223の「1 主・述の関係(主語・述語)」についての説明を読んで理解する。

本時

指導例「主語・述語」

2

例文を使って、主・述の関係が整った文とはどのような文であるかを理解する。

3

p223の「2 修飾・被修飾の関係(修飾語)」についての説明を読んで理解し、練習問題に取り組む。

4

p224の「3 接続の関係(接続語)」 「4 独立の関係(独立語)」についての説明を読んで理解し、練習問題に取り組む。

5

p225の「並立の関係」と「補助の関係」についての説明を読んで理解し、練習問題に取り組む。

6

p225の「2 連文節」についての説明を読んで連文節の働きを確かめ、文節同士の関係を考える。

7

p226の「3 文の組み立て」についての説明を読み、どのように書いたら文意が正確に伝わるかを考えて、100字程度の作文を書く。

押さえてたい指導のポイント

- 主・述の関係を理解させるということだけではなく、主・述の関係の整った文のよさを考えさせる。
- 主・述の関係が成り立っていない文を正しく書き直すときには、十分な時間を与え、正確に書かせるようにする。
- 交流を通して、多様な表現方法があることに気付かせる。
- 友だちとの交流や書き直す作業を通して、分かりやすい文を書くことの大切さに気付かせる。